

里山資本主義と 佐倉への期待

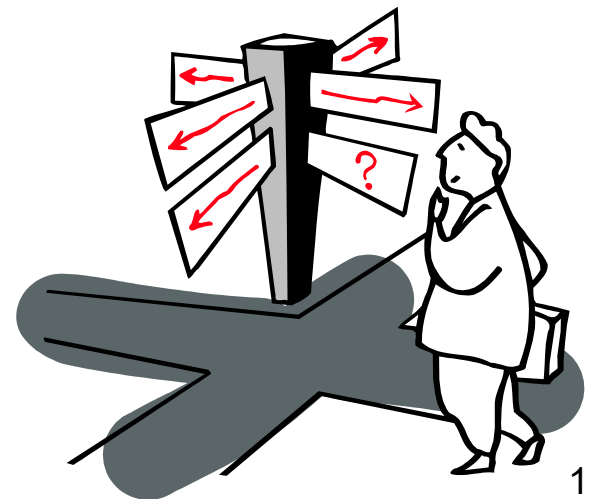
2026年9月13日

株式会社 日本政策投資銀行地域調査部 特任顧問

株式会社日本総合研究所 主席研究員

みきわめ ・ みとおす
事実発見&構造把握業

もたに
藻谷浩介 kosuke@motani.com



人口16万人の佐倉市 もし独立国だったら、大きさは？

✕ 小さすぎて国にはなれない

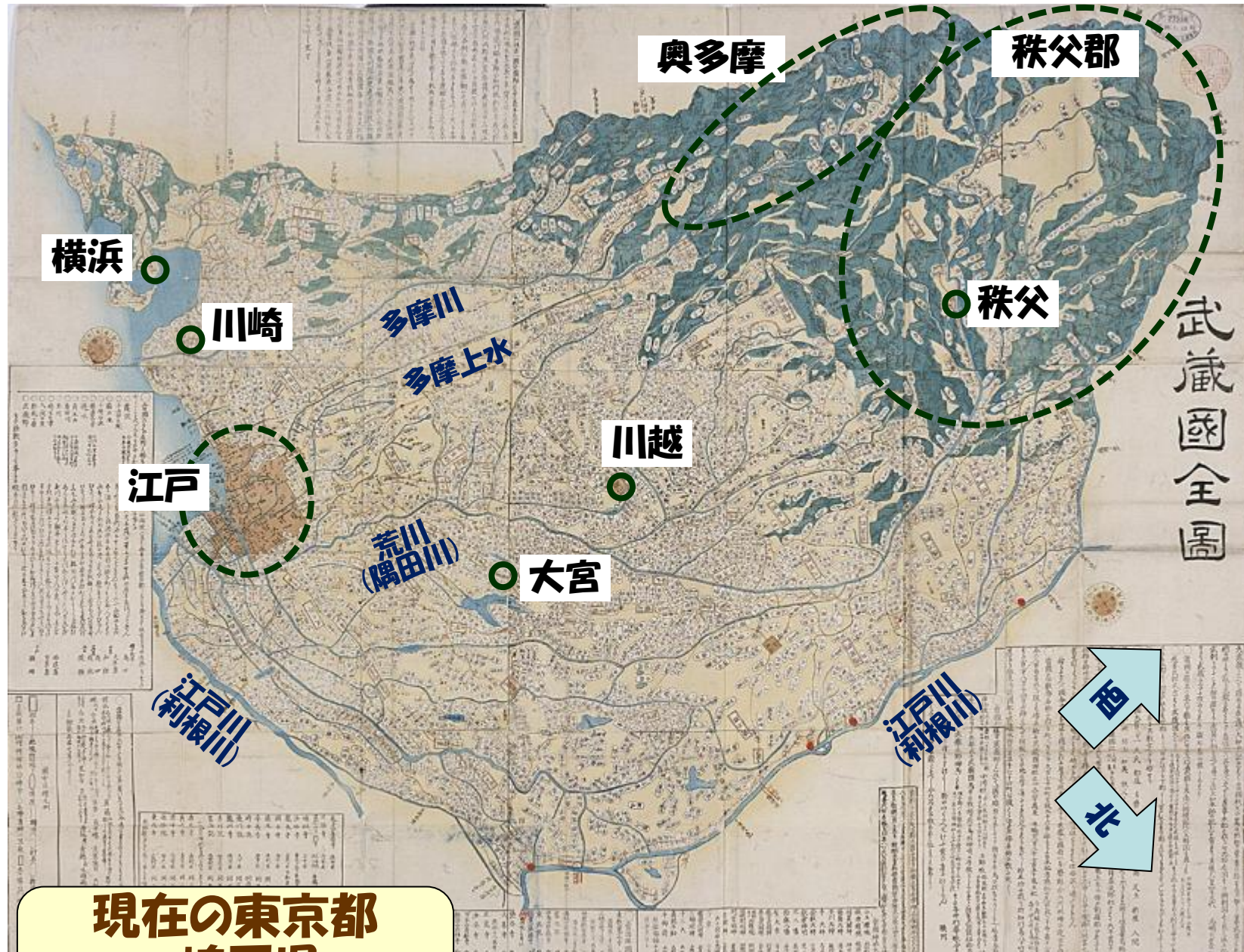
✕ 世界196ヶ国の中で下から3番目

③ もっと小さい国も20ヶ国以上ある

欧州のモナコやリヒテンシュタインに比べれば4倍
千葉県なら世界でも真ん中くらいの大きさ。

首都圏一都三県なら、世界で40番目。

そもそも日本は、世界12位の人口大国なのです。



武蔵国全図ではなぜ川上が右上なのか？

上は上手、上方、つまり上座。

- ① 山があってこそ川が流れ出し、川があるから水があると知っていた
- ② 山があってこそ木があり、燃料と建材が手に入ると知っていた

武蔵国ではなぜ大半が農地だったのか？

当時世界で最大の都市江戸は、周囲の農地との間の循環再生システムで支えられていた

“里山”とは何か？

- ❁ “里山”とはもともとは、農村集落のすぐ近くにある山や丘や林のこと
⇔ 反対語は都市ではなく、「奥山」
- ❁ しかし今では“里山は”生態学の学術用語：
農村集落の周囲にある山や林や田畑や川や水路で、その集落の住人が多年、生活のために利用しており、そうした利用活動自体が生態系の中に組み込まれて安定している場所
- ❁ 里山では、人間の多年の活動の結果、
生き物の種類が奥山よりも多くなっている
(生態系の中の「生物多様性」が、かえって増している)



(生態系の中の「生物多様性」が、かえって増している)

“里山資本主義”とは何か？

“里山”的な資本主義：共生と循環再生で、続く経済

- ☆ 人と自然の共生が循環再生を生む里山では、原生林より生物種が多い
- ★ 里山資本主義は、多様なものが共生し、循環再生して続く経済体制

マネー資本主義とは違う：成長ではなく継続が目標

- ☆「経済成長」と「寡占」で「蓄財」を目指すのが「マネー資本主義」
- ★成長ではなく「循環再生して継続」、寡占ではなく「多様な主体の共生」、蓄財ではなく「稼いだら使う」のが「里山資本主義」

里山資本主義は、カネよりも“里山資本”を重視する

- ☆ 里山資本主義者も、当然のことながらお金を稼いで使う
- ★ だがお金は「貯めるもの」ではなく「使うもの」と考える
- ☆ 里山資本主義者は、ヒト・モノ・情報を資本とし、自給・物々交換・恩送りなどを通じて活用、金利以外の利子を得る

人は資本に再投資し“利子”を得る

資本も利子も、お金に限定された話ではない

人的資本：ヒト

投資：産む／教育する／お互いつながる
利子：次世代／継承発展／支え合い

投資：田畑と里山の維持再生 / 利子：“里山利子”（水・食糧・燃料）

里山資本：モノ（田畑・山林・水）

投資：DIY／デザインの工夫／景観保全

物的資本：モノ（建物・構造物）

利子：“ビンテージ”や“景観価値”
（老朽化必至のマンションに利子はつかない）

金融資本：カネ

カネ余りでゼロ金利時代となり、
投資しても利子に頼れない…

知的資本：情報

投資：教わる／経験する／発信する
利子：資本を活かす力が身につく

“里山資本”は“里山利子”を生む
元本を循環再生させれば、利子はつき続ける

農産：穀物・野菜・肉

林産：材木・山菜・薪炭・ジビエ

水産：魚介類

日光・風・地熱：再生可能エネルギー

淡水：流水、井戸水、温泉水

人間関係：物々交換や恩送りが生まれる

里山利子に背を向け、金融投資の利子だけに
頼る東京人は、将来不安から逃れられない

住民1人当たりの生活保護費

2014年

<http://area-info.jpn.org/SehoPerPop.html>

① 大阪市	118,000円
② 東京特別区平均	51,200円
③ 千葉市	36,800円
④ 船橋市	26,400円
⑤ 八千代市	19,300円
⑥ 佐倉市	12,800円
⑦ 新潟県佐渡市	10,300円
⑧ 能登半島珠洲市	9,100円

お金以外の資本も
豊富なので、
生活に困りにくい

マネー資本主義と里山資本主義

マネー資本主義者

里山資本主義者

共通点

市場原理(価格裁定、競争、分業 etc.)を前提に、経済活動する

理念

「経済成長」でパイを無限に拡大

「循環・再生」で社会を維持継続

欲望

ナンバーワンになりたい

オンリーワンになりたい

個人目標

所有財産の無限増加を目指して
他人に勝ち、貯め込む

「替わり」のない存在になる
= 稼いでは回しバトンをつなぐ

戦略

粗暴バージョン：
他者/他集団から奪い取る

素朴バージョン：
何でも自給自足する

知能バージョン：
未来/次世代から搾取する
← 簿外資産を浪費して蓄財する
(地下資源、水、土壌、大気、子供、絆...)
← 借金や汚染物質を後世に残す

成熟バージョン：
お金とお金以外の手法を
うまく組み合わせて使う
← 使ったものは元に戻す
← いっつと清浄な環境を残す

手法

等価交換 / 金融投資
自由競争 / リスクの個人化

物々交換・贈与 / 実物投資
協働 / リスクの社会化

マネー資本主義を生んだ—神教的自然観

- ① 人は神に似せて作られた存在なので、人は自然に対し、神が人に対するかのごとく振舞うのが本性である
- ② 自然への対し方含め、全ての人為には神から最後の審判が下るので、逆に言えばそれまで人は思うままにしてよい
- ③ 神が裁くのを真似て人も裁く。そのためには評価基準が必要→金額という定量指標で計る市場裁定の神格化が進んだ

里山資本主義を生んだ日本的自然観

- ① 現世には超越者はなく、生物も非生物もみな自然の循環再生の摂理に従う
- ② 現世では最後の審判は下らないので、各人が非力ながら八百万の神々のごとく循環再生の維持に努めるしかない
- ③ 循環再生の摂理は、裁きではなく、因果応報で人に作用する。これは長い時間の中で明らかになるもので、金額という定量指標により即時に出る市場裁定の結果とは別物。

“里山資本主義”の基本要素①

❁ 水・食料・燃料・建材(の一部)を自然資本から自給

- 森林や農地などの“自然資本”を循環再生させ、水、食料、燃料、建材などの基本資源を、1%~100%自給するよう目指す
- 自給率1%でも、非常時だけ発動するバックアップ自給体制整備でもOKで、「お金に100%依存」を脱しさえすれば良い

❁ 物々交換

- 人間関係（人的資本）を活かし、お金を介さずにモノを交換
- 自分では水/食料/燃料を生産していなくとも、労働だの好意だの友情だの愛嬌だの何かと交換して手に入ればOK

❁ 恩送り

- 余ったら、見返りを期待せずに人にあげてしまう
- あげた相手には、自分以外の誰かへの恩送りを期待する
- 慈善と違って、全員が貰う側にもなり、あげる側にもなる

“里山資本主義”の基本要素②

❁ お金は交換手段で、価値の“物差し”にはしない

- お金で買えるものは好きなだけ買えばいい
 - 贅沢上等、でもお金は金利がつかないので、貯めずに使う！
 - 「所持金が多いほどその人の価値が高い」というような、マネー資本主義者が信じる価値観には染まらない
- 社会の価値は、金銭換算された“経済成長”では計らない
- 人の価値は、金銭換算できない“かけがえのなさ”である

❁ “分業”よりも“複業”

- 大組織のように役割を小分けして効率化を図るのではなく、一人が多くの役割を果たすことで、楽しく効率アップする

❁ “規模の利益”よりも“小規模の利益”

- 大量生産/低価格/大量消費と逆に、小さな資本を活用
- 今だから/ここだから/自分だからできること、を重視する

都会でもできる里山資本主義

最も簡単なこと：

- ！ソーラーを付け、ベランダ園芸をする
- ！自営の店で買い物し、経営者と仲良くなっておく
- ！特定の田舎に通って産品を買い、絆を作っておく

もう少し進めば：

- ！庭などで作物を育て、自家消費／物々交換する
- ！特定の田舎に田畑／セカンドハウスをつくる

最後には：

- ！好みの田舎に移住する／季節ごとに転々とする

里山資本主義は、お金に頼る生活と、
お好きな比率でブレンドして実践可能！

市場経済原理では改善できない 社会の4つの要素の循環再生不全

① ヒトの再生不全 ⊃ 少子化

② モノの循環再生不全
⊃ 地球環境問題、空き家問題

③ カネの循環不全
⊃ 格差拡大、地域内経済循環不全

④ 情報の循環再生不全
⊃ 現場情報の軽視、フェイク蔓延

里山資本主義が改善する 社会の4つの要素の循環再生不全

- ① ヒト：子育ての負担を低減
- ② モノ：地域内物質循環を拡大
燃料や肥料の輸入を削減
- ③ カネ：地域内経済循環を拡大
- ④ 情報：現場の知恵を継承・発信

モノの循環再生不全とは？

- ① C(炭素)：地中→大気中に
- ② N(窒素)P(リン)：乾燥地帯の
地中→農業地帯の地下水の中に
- ③ H₂O(淡水)：川/地下水の枯渇
- ④ CxHx(プラスチック)：海水/大気中に
- ⑤ 金属類：地中→ゴミ捨て場に

江戸を支えたモノの循環再生

- ① C: 大気 → 樹木 → 薪炭 → 大気
- ② NとP: 魚や農作物 → 人体 → し尿
→ 川を経て海へ / 肥料として農地へ
- ③ H₂O: 玉川上水で供給
- ④ CxHx: 道具も布もリサイクル
- ⑤ 金属類: 鍛冶屋でリサイクル

今の東京のモノの循環再生不全

- ① C: 輸入化石燃料を随所で燃烧
- ② NとP: 輸入肥料やトウモロコシ
を経て人体→し尿→下水汚泥に
- ③ H₂O: 7割を利根川上流から送水
- ④ CxHx: 焼却されればCO₂増加
- ⑤ 金属類: 埋立地に埋没

モノの循環再生不全への対処策

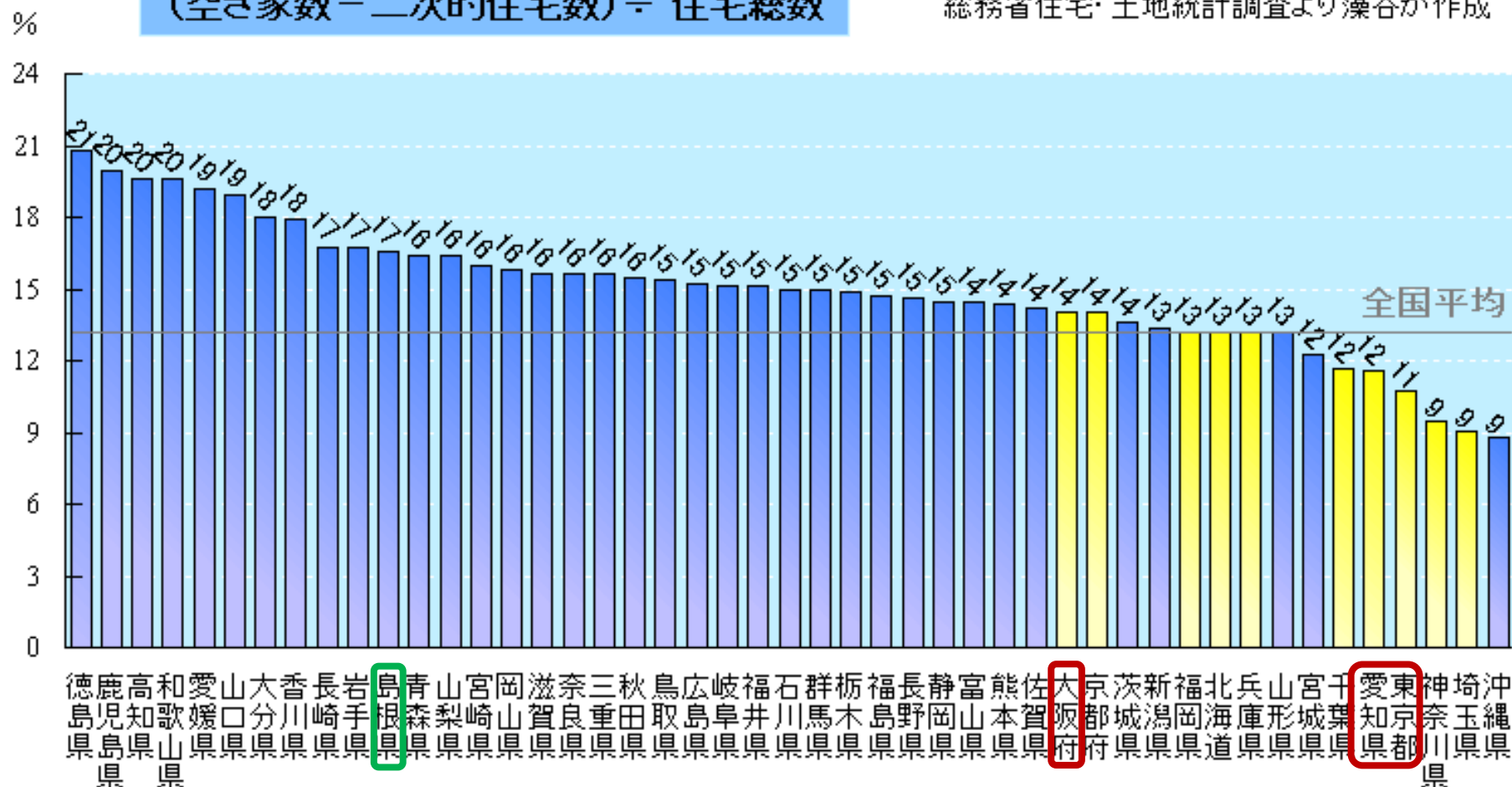
- ① C:再エネ(太陽光、風力、地熱、木屑燃焼…)
省エネ(断熱改修、家電買替、歩く生活、地消地産)
- ② NとP: 生ごみの堆肥&液肥化
下水汚泥の肥料化/トウモロコシ自給
- ③ H₂O: 井戸の再生/WOTAシステム
- ④ CxHx/⑤金属類: リサイクル

空き家問題はどこで深刻か？

空家率-2023年

(空き家数-二次的住宅数) ÷ 住宅総数

総務省住宅・土地統計調査より藻谷が作成



「率」で見れば、空き家は地方（特に降雪のない地域）に多い。

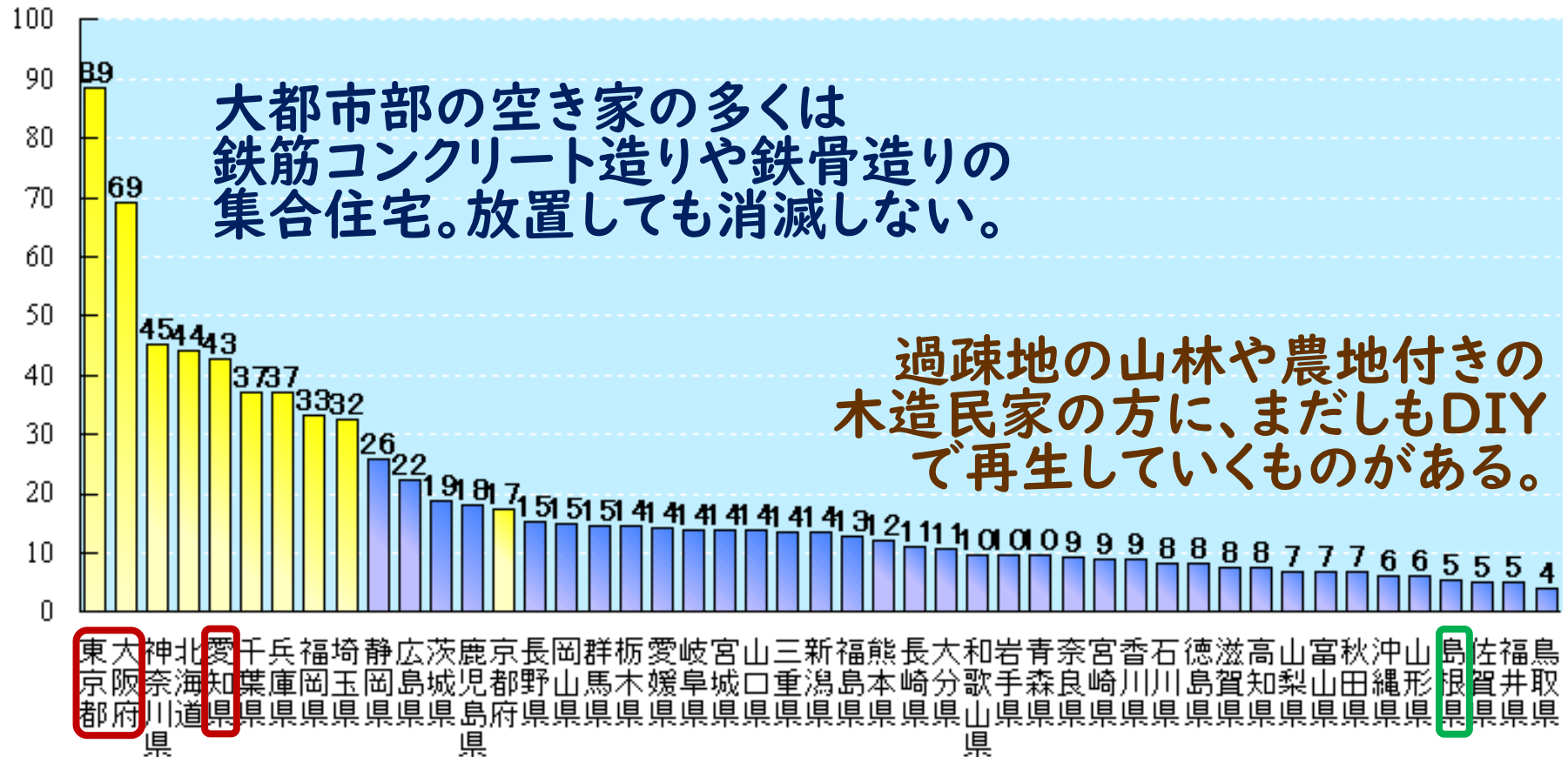
率ではなく数こそが現実の問題

空家数-2023年

空き家数-二次的住宅数

総務省住宅・土地統計調査より藻谷が作成

万戸



空き家の1割は東京都、4分の1は首都圏にある。

**3百年後の日本、
3百年後の佐倉に
確実に残っている**

**人のつくったもの
人工物は何でしょう？**

**3百年後の世界には
建物も、橋も新幹線も
4～5回は造り替え
られたもののしか
残っていません。**

**3百年後に残っているのは、
まずは3百年前からあるもの。**

それは田畑、寺社、水路。

**道路や橋も必要なものは残るでしょう。
学校や診療所や集会所も残るでしょう。**

でも都会の高層ビルは????

あなたは何を未来に^{のこし}遺しますか？